

Ariete
il genio della casa

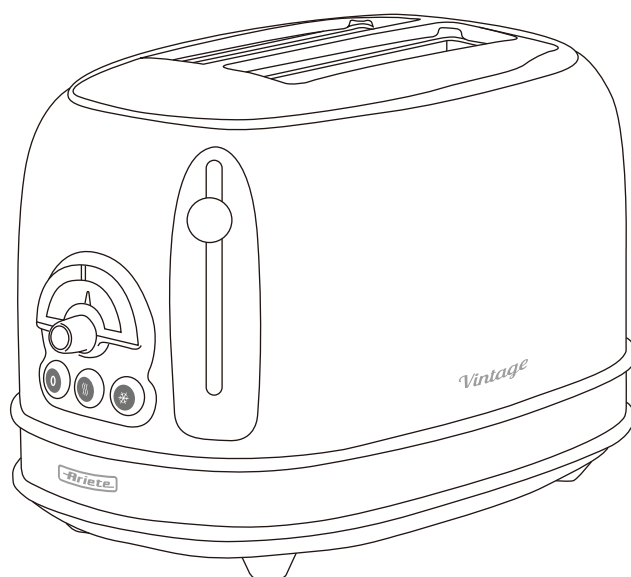
アリエテ

トースター

取扱説明書

保証書付

型式番号 155



目次

安全上のご注意	2.3
各部の名称と働き	4
初めて使うときは -空焼きをおこなってください-	4
パンを焼く前の準備	5
焼けるパンの対応サイズ	5
パンの焼き方	6.7
お手入れ方法	7
故障かな?と思ったら	8
仕様	8
アフターサービス	9
保証書	裏表紙

この製品は、室内専用の家庭用食パントースターです。
業務用の製品ではありません。

このたびは、製品をお求めいただき、誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず、
この取扱説明書を最後までお読みいただき、十分にご理解の上、
ご使用ください。

尚、お読みになった後は、保証書（裏表紙）とともに
大切に保管してください。

本書に記載の内容は、改善の為予告なく変更する場合があります。

安全上のご注意 <必ずお守りください>

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」をお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を「警告」「注意」の2つに分け、説明しています。



警告

誤った取扱いをしたとき、
死亡や重傷に結びつく
可能性のあるもの



注意

誤った取扱いをしたとき、軽傷
または家屋・家財などの損害に
結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



指示

この絵表示は、必ずして
いただく「強制」内容です。



禁止

この絵表示は、しては
いけない「禁止」内容です。



警 告



指示

定格15A(100V)の壁コンセントを単独で使用する
(火災の原因)

- ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しない。
- 海外など、異なる電源電圧の地域で使用しない。
(日本国内専用)

電源プラグは根元までしっかり差し込む
(火災の原因)

電源プラグやコンセントのほこりなどは定期的に
から拭き掃除する (火災の原因)

異常・故障時には直ちに使用を中止する
(火災・感電・やけどの原因)

異常・故障例

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- 異常な音やにおいがする。
- 本体が転倒、落下した。

※異常、故障時には直ちに使用を中止し電源プラグを
コンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を
依頼してください。



禁止

子供など取扱いに不慣れな方、介助を必要と
する方だけで使わせたり、乳幼児に手の届く
ところで使用しない (火災・感電・やけど・けがの原因)

- 子供が機器 (電源コード含む) で遊ばないように監視する。
- 電源コードをテーブルから垂らさない。

燃えやすいもののそばに置いたり、熱に弱いものや
カーテンなどを近づけない (火災の原因)

- カーテンなど燃えやすいもの、スプレー缶など破裂の
おそれがあるものの周辺で使わない。
- 畳、絨毯、テーブルクロスなどの敷物、プラスチック製の
熱に弱い素材の器具・家具の上で使用しない。

本体や電源プラグ・コードに水をかけない (火災・感電の原因)

- 水をかけたり、水に浸けたり、水洗いしたりしない。

※誤って水をこぼしてしまった場合は直ちに使用を中止し、
販売店または当社へ点検、交換または修理を依頼して
ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない (感電の原因)

お手入れは電源プラグをコンセントから抜き、
本体各部が冷えてから行う (感電・けが・やけどの原因)



警告



禁止

電源プラグ・コードを破損させない

(火災・感電の原因)

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く。
- 傷付けたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない。
- 引っ張ったり、重いものをのせたり、はさんだりしない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない。
- 火に近づけたり、高温部に近づけたりしない。

※電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検、交換または修理を依頼してください。

金属製のもの（アルミホイルやナイフなど）をスロットに入れない（感電、やけどの原因）

- パン以外のものをスロットに挿入しない。

※スロットにパンが引っかかった場合：パンが引っかかったらの指示に従い、取り除いてください。（5ページ）

動作中に電源プラグを抜き差ししない（火災・感電の原因）

分解、修理、改造をしない（火災、感電、やけどの原因）



注意



指示

耐熱性・耐荷重のある、しっかりと固定された平らな場所に置く（やけど・けがの原因）

長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く（火災の原因）



禁止

水や蒸気のかかる場所、火気の近くで使用しない（火災・感電の原因）

- 屋外で使用しない。（屋内専用）

使用中および使用後しばらくは、本体上部など高温部に触れない（やけどの原因）

※移動の際には電源プラグを抜き、本体が十分に冷めてから移動してください。

使用中は本体から離れない（火災の原因）

- パンは燃える可能性があるため、使用中本体から目を離さない。

※10分以上経っても自動的にレバーが上がらない場合は、故障と考えられますので、キャンセルボタンを押して手動で電源を切り電源プラグを抜き当社にお問い合わせください。



禁止

他の用途で使用しない（火災・感電・やけどの原因）

※本製品はパン焼機（トースター）です。

使用中にスロットをふさがない（火災・感電・やけどの原因）

他の製品の部品や付属品などを組み合わせて使用しない（火災・感電の原因）

指定された以外のパンをスロットに入れない（火災の原因）

- 焼けるパンのサイズについて（5ページ）で指定された大きさのパンのみを使用してください。パンがスロットに引っかかるおそれがあります。

※スロットにパンが引っかかった場合：パンが引っかかったらの指示に従い、取り除いてください。（5ページ）

バターやジャムなどを塗ったパンを挿入したりラップやホイルなどで包まれた状態のパンをスロットにいれない（火災の原因）

本製品を業務用で使用しない（火災・感電の原因）

※本製品は家庭専用です

各部の名称と働き

ご使用前に梱包材などを取り除いてください。

レバー

下にさげると電源が入り、パン焼きを開始します。

スロット (パン挿入部)

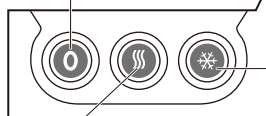
パンを入れます。

焼き目調整目盛 (つまみ)



キャンセルボタン

途中で加熱を止めるときに押します。



温め直しボタン/ランプ

冷めてしまったパンを温めなおすとき、レバーを下げた後に押します。

解凍ボタン/ランプ

冷凍したパンをトーストするとき、レバーを下げた後に押します。

電源コード

電源プラグ

くず受け

初めて使うときは

- まずは空焼きを二度しましょう -

ご購入後、使用する前に二度、空焼きを行ってください。空焼きを行うことで新品特有のにおいを除去できます。

- 空焼きを行う際には、梱包材などを完全に取除いた状態で行ってください。
- この時、スロットにはパンを入れないでください。

①電源プラグをコンセントに差し込む

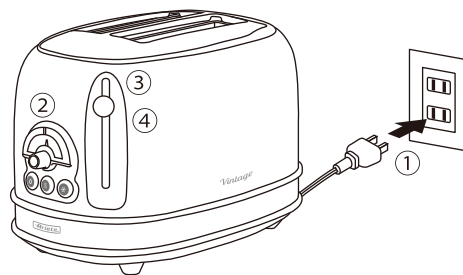
②焼き目調整目盛 (つまみ) を一番右にする

③空焼きを始める

レバーを一番下まで下げると、加熱スタートします。

④空焼き終了

空焼きが終わるとレバーが元に戻り、加熱ストップとなります。この作業を2回程度繰り返し行ってください。



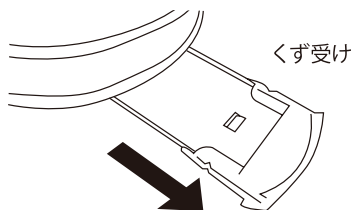
注意

- 換気をした場所で行ってください。
- 続けてご使用にならない場合には、プラグをコンセントから抜いてください。

パンを焼く前の準備

本製品を安全にご使用いただくために、必ず次の準備をしてからパンを焼いてください。

- くず受けを必ず取り付けてください。
- くず受けは定期的にお手入れしてください。
詳細は"くず受けのお手入れ(7ページ)"をご参照ください。
- 焼けるパンのサイズは、"焼けるパンの対応サイズ"を参照の上、
ただしサイズのパンをスロットに挿入してください。



焼けるパンの対応サイズ



注意

以下のサイズよりも小さいパンをご使用ください。スロットないでパンが引っ掛かるおそれがあります。
(火災の原因)

- パンに焼きムラができる場合は、パンの挿入方向を入れ替えてください。

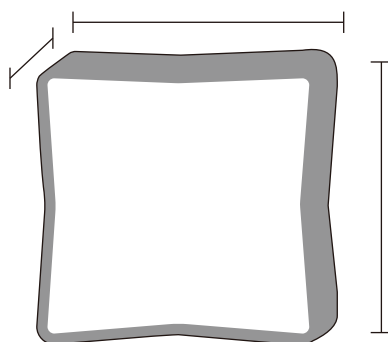
< 横 > 約 130 mm まで

< 厚み >

10枚切 (約12mm)

~

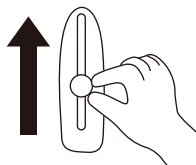
5枚切 (約25mm)



< 縦 > 約 125 mm まで

パンがスロットに引っかかってしまったら

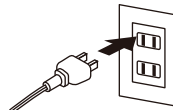
電源プラグをコンセントから抜き、
レバーを一番上まで上げて、取り出してください。



- 金属製のもの(ナイフ、フォーク、アルミホイルなど)をスロットに入れない。(感電・やけどの原因)
- 本体上部および側面は、非常に熱くなります。パンを取り出す際には、やけどに充分注意をしてください。(やけどの原因)

パンの焼き方 冷凍したパンを焼くときやトーストしたパンを温め直すときは、7ページを参照してください。

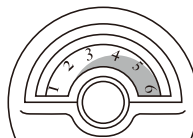
①電源プラグをコンセントに差し込む



②パンの焼き加減を選ぶ

焼き目調整目盛（ツマミ）を回転させ、お好みの目盛に合わせ焼き加減を設定します。

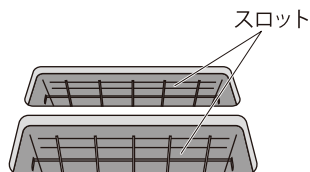
※焼き目調整目盛にある0から6の数字は焼き加減の目安で時間ではありません。



うっすら ⇄ しっかり

③スロットにパンをいれる

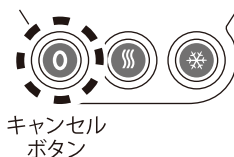
本体には2つのスロットがあり、一度に2枚のパンが焼けます。1枚だけ焼く場合は、いずれかの1つのスロットだけにパンを入れてご使用ください。



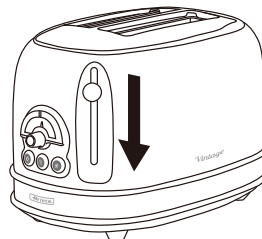
④加熱を始める

レバーが止まる（一番下）まで下げるとパンの加熱が始まります。

途中でパンの加熱をやめるには
“キャンセルボタン”を押します。
加熱が停止してパンが上がります。



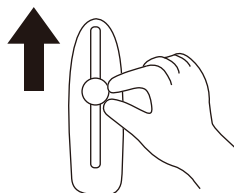
キャンセル
ボタン



⑤パンの焼きあがり

パンが焼けると加熱を停止し、レバーが戻り、パンが上がります。小さなパンなど、スロットからパンが取り出しにくいときは、レバーを一番上まで上げてください。レバーの動きに合わせてパンが上がり、パンを取り出しやすくなります。

※その後本機をご使用にならない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。



警告

本体上部および側面は、非常に熱くなります。パンを取り出す際には、やけどに充分注意をしてください。（やけどの原因）

冷凍したパンを焼く

冷凍したパンを解凍しながら焼くことができます。

- ①冷凍したパンを、スロットにいれます。
- ②焼き目調整目盛(ツマミ)を回転させ、お好みの目盛に設定します。
- ③レバーを下げて解凍ボタンを押します
 - 解凍ランプが点灯します



トーストしたパンを温め直す

一度トーストしたパンが冷めてしまったとき、パンを焦がさずに温めなおができます。

- ①温め直ししたいパンを、スロットにいれます。
- ②レバーを下げたら、温め直しボタンを押します。
 - 温め直しランプが点灯します
 - 焼き目調整目盛の設定は不要です。
焼き目調整目盛の設定に関係なく、一定の時間加熱します。



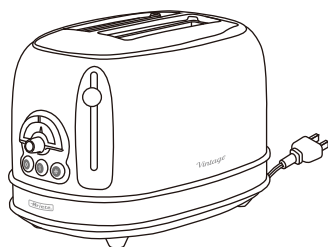
お手入れ方法



研磨剤が入ったクレンザーや金たわしは、絶対に使用しないでください。

本体表面のよごれ

- よく絞った布で汚れをふき取る。

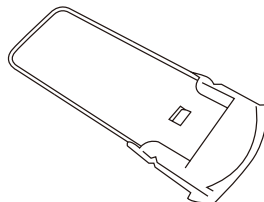


くず受けのお手入れ

- よく絞った布で汚れをふき取る。



本体を使用する前に必ず、「くず受けを確認し、くずが無いことを確認の上、ご使用ください。くず受けのパンくずを放置したまま、使用を続けると、発煙や発火または、カビや菌の繁殖の恐れがあります。



電源プラグ・電源コードのよごれ

- 乾いた布で汚れをカラ拭きする。

- 日常のお手入れ：
使用後は毎回、くず受けを取り外してパンくずを捨ててください。
- 定期的なお手入れ：
水を含ませ、固く絞った布で拭いてください。

故障かな？と思ったら

状 態	確 認 す る こ と	対 処 の し か た
レバーが下がらない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
パンが上がってこない	パンが引っかかっていますか？	厚みが 25 mm 以内のパンを焼いてください。
		引っ掛かったパンを取り出すには：電源プラグをコンセントから抜き、レバーを1番上まであげて、パンを取り出してください。（5ページ）
パンの焼き色が薄い	焼き目調整目盛（ツマミ）の設定が低すぎになっていませんか？	焼き目調整目盛（ツマミ）の設定を高め設定しておいてください。
	水分量の多いパン（湿ったパン）を焼いていませんか？	
パンが焦げる	焼き目調整目盛（ツマミ）の設定が高すぎになっていませんか？	焼き目調整目盛（ツマミ）の設定を低めに設定しておいてください。
	硬めのパンを焼いていませんか？	
	パンを焼いた後、続けて次のパンを焼いていませんか？	トースターが冷えてから次のパンを焼くか焼き目調整目盛（ツマミ）の設定を低めに設定してください。
冷凍したパンに焼きむらができる	解凍ボタンを押さずにパンを焼いていませんか？	レバーを下げてパンの加熱を始めた後、解凍ボタンを押します。

仕 様

製 品 名 称		アリエテ トースター
型 式 番 号		155
定 格	電 圧 / 周 波 数	交流 100 v / 50/60 Hz
	消 費 電 力	750 w
大 き さ（約）		幅 300 x 奥行 190 x 高さ 200 (mm)
質 量（約）		本体：1.5 kg
主 な 材 質		ステンレス

アフターサービス

使用中に異常が生じた場合：

直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「故障かな?と思ったら」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社にご相談ください。

★以下のような場合には、点検および修理が必要です

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 本体や電源ベースに、水やジュース（液体）などをこぼした
- 電源コード、電源プラグが変形破損している
- 取扱説明書どおりに使用しているのに正常に機能しない

万一故障した場合：

保証書に記載されている販売店に①お買い上げ日②製品名と型式番号③故障の状況を連絡の上、修理をご依頼ください。

※保証規定は、「保証書（裏表紙）」を参照ください。

アフターサービスのご用命は、お求めの販売店または当社までご連絡ください。

フリーダイヤル

0120-035-303

受付時間

土、日、祝日を除く平日10:00～16:00まで

保証書

製品名：		型式番号：	
お客様	ご氏名：	販売店	※店名・住所・電話：
	TEL：		
	ご住所：〒		
		印	
※お買い上げ日： 年 月 日		保証期間：お買い上げ日より1年間	保証対象：本体

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に本書記載内容の範囲内で無料修理を行うことをお約束するものです。

1.お買い上げ日から表記期間中故障が発生した場合は、商品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

2.ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社に直接ご相談ください。

3.ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

4.次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担になりますので、ご了承ください。

イ.本書のご提示がない場合

ロ.使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障及び損傷

ハ.お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障及び損傷

ニ.火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧・周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障及び損傷

ホ.一般家庭用以外（例えば業務用、車輻、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷

ヘ.本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合

ト.消耗品が消耗し、取替が必要な場合

5.本保証書は日本国内においてのみ有効です(This warranty is valid only in Japan.)

6.本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

●本保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

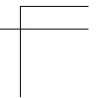
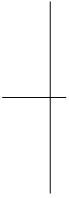
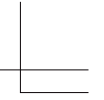
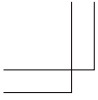
お客様ご相談窓口（受付時間：土、日、祝日を除く平日10：00～16：00）

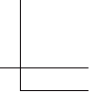
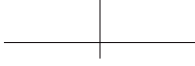
〒135-0001
東京都江東区毛利1-19-5 TEL 0120-035-303



蔵王産業株式会社 アリエテサービス係

※この取扱説明書に記載されている連絡先の名称、電話番号、所在地、営業時間は変更する場合がございます。





cod. 6345100700 rev. 0 - 14/02/20

